アートスペースk.kaneshiro 第7回企画展

浮田克躬《丘の工場》1958年 キャンバスに油彩　© Asaki Ukita 2026/JAA2600022

丘の工場

――失われた風景を求めて――

2026年 3月20日(金)～8月2日(日)

京都市立芸術大学 C棟6階　入場無料

【開館時間】10:00～18:00

art space K kaneshiro

京都市立芸術大学
Kyoto City University of Arts — founded in 1880 —

第７回企画展

丘の工場

――失われた風景を求めて――

丘の上に建つ城のような工場。

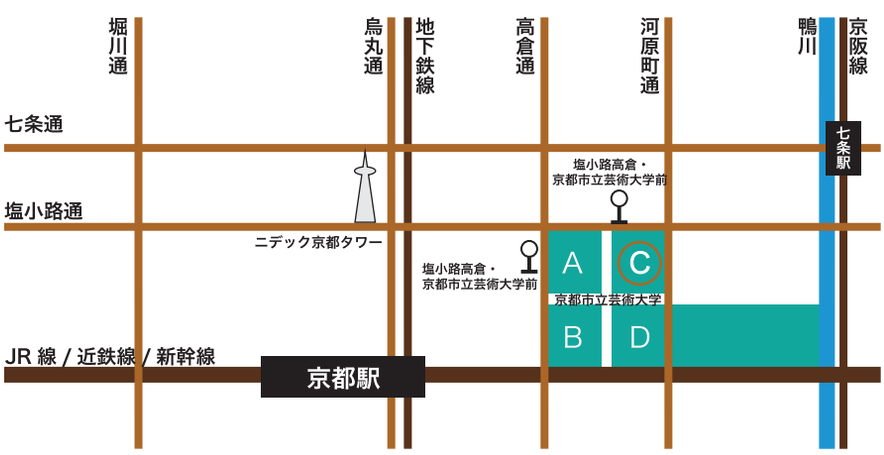
近年、金城コレクションに加わった《丘の工場》と呼ばれる大きな絵画。一見、ファンタジーの世界のような不思議な雰囲気をもつ絵画に、私たちはみな魅了されました。
この工場は実在したのだろうか。実在したとすれば、いつどこに？
いくつもの疑問が湧き、その答えを探していく過程を展覧会にて皆さまにお届けします。
浮田克躬 (1930–89) は昭和期に活躍した洋画家であり、東京美術学校で安井曾太郎らに学びました。
戦後、新日展、一水会展を中心に活躍し、日本やヨーロッパのノスタルジックな風景を描いたことで知られています。
本展覧会に出展する《丘の工場》は、戦後の第 1 回新日展で特選を受賞した浮田の初期の重要作品であり、はじめは彼が初期に多く描いていた北海道の風景ではないかと言われていましたが、調べていくと、どうやら東京都渋谷区にかつて実在したヱビスビールの工場らしいということが判明しました。しかし、その跡地と思われる場所は現在ではすっかり近代的な街に変貌しており、調べれば調べるほど、そのギャップの大きさに驚かされます。
本展覧会「丘の工場 ―失われた風景を求めて―」では、東京の昔の地図や写真などを基に探索し、在りし日の工場の様子と、対照的な現代の姿を紹介していきます。時の移ろいに思いを重ねながら、是非ゆっくりとご鑑賞ください。

アートスペース k.kaneshiro

京都市立芸術大学の京都駅東部エリアへの移転に際し、多大な貢献をいただいた金城一守氏の「学生の役に立ちたい」という思いから、このアートスペースはできました。金城コレクションの活用のため、教員の指導のもと学生が作品の調査から展覧会の企画・運営までを担当しています。

〈アクセス〉
●地下鉄烏丸線・JR 各線・近鉄京都線「京都」駅下車　徒歩 6 分（JR 京都線中央口から A 棟まで）
●京阪電車「七条」駅下車　徒歩 10 分（1 番出口から C 棟まで）
●市バス 4、7、16、81、205、南 5 号系統 「塩小路高倉・京都市立芸術大学前」下車すぐ

〈会場〉
●京都市立芸術大学　C 棟 6 階アートスペース k.kaneshiro（京都市下京区下之町 57 ー 1）

公式 web サイト
https://artspace-kkaneshiro.jp/

公式インスタグラム
@k.kaneshiro.art.space